

付属研究所主催 映画『教誨師』上映会 +トークセッション 報告

研究所所長 渡辺祐子

【開催概要】

日時：2019年5月21日（火）

- ・上映会 16:45～
- ・トークセッション 18:40～

■司会：キリスト新聞社 松谷信司 氏

■登壇ゲスト：佐向 大 監督、北川 善也 学院牧師

■登壇学生：国際学科4年 村松有紗、社会学科2年 松島基紀

会場：白金校舎 2号館 2102教室

主催：キリスト新聞社

協力：教養教育センター付属研究所

「明学で『教誨師』の上映会を監督トークセッションとあわせて開催しませんか？」キリスト新聞社社長の松谷信司氏からこんなお誘いをいただいたのは新年度が始まるか始まらないかという頃だったと思う。この映画が劇場上映された際に鑑賞の機会を逃していたわたしは、一も二もなく付属研協力で上映会を実施したいと思った。しかもDVD発売記念のキャンペーンで費用はすべて先方が提供してくださるというのだから、引き受けない理由はない。

日程の確定に少し手間取ったものの、計画はとんとん拍子に進んだ。学院牧師の北川善也先生にセッションへの登壇をご快諾いただいたほか、ぜひ学生の感想を聞きたいという松谷社長の提案で、二名の学生にも来てもらうことになった。

佐向監督とのトークセッションでは、主役を演じた故大杉漣が資金難に悩む監督を励ましながら、プロデューサーとして何としても映画を成功させようとしたこと、監督が実際に教誨師を経験した牧師への取材を重ね教誨師像をリアルに作り上げる努力をしたことなど、映画作りにもつわる様々な苦労話を伺うことができた。また事前に映画をご覧になって十分な準備をなさっていた北川牧師がひとつひとつの演出が持つ意味を監督に問いかけてくださったおかげで、来場者には一度見ただけでは到底得ることができない細部に至るまでの気づきが与えられた。まさにトークセッションのだいご味である。

時間の制限のため、学生の発言時間が限られてしまったのは若干心残りだったが、それでも二人の学生からも率直で誠実な感想を聞くことができた。

この上映会は、徐正敏先生の授業「宗教史7」の公開授業として開催されたもので、この授業の履修者を含めて、学内外から120名の参加者があった(トークセッションまで残ってくださったのは65名)。上映会を授業の一環としてくださった徐先生、ポスター制作から宣伝、当日の采配に至るまで様々に配慮してくださった広瀬さんをはじめ教学補佐の皆さんに厚く御礼申し上げる。

死刑囚との対話が始まる。

映画『教誨師』DVD発売記念上映会&トークセッション

牧師、信徒、
教会関係者
も歓迎！

*入場無料 / 申込不要

5月21日(火)

16:45~ 上映会
18:40~ トークセッション

@明治学院大学 白金校舎 2号館 2102教室

教誨師 × 明治学院大



登壇ゲスト 佐向 大 監督

北川善也 明治学院学院牧師

協力：明治学院大学教養教育センター附属研究所、キリスト新聞社

研究所概要

月例研究報告

ランゲージラウンジ活動報告

研究プロジェクト

公開講演会

研究業績